

平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に採択

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に本学が代表校として愛知県内国公立5大学で共同申請しておりました「愛知県内教員養成高度化支援システムの構築」の取組が採択されました。

本事業には、全国各大学等から153件の申請があり、49件の取組が選定されたものです。

【事業目的】

本事業は、国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、優れた取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別文化を推進することを目的としています。

【本学が代表校として取り組む概要】

1. 取組名称：「愛知県内教員養成高度化支援システムの構築」
2. 連携校名：愛知教育大学，愛知県立大学，桜花学園大学，名古屋学芸大学，名城大学
3. 連携機関：愛知県教育委員会，名古屋市教育委員会，愛知県博物館協会，愛知県学校図書館研究会
4. 事業実施期間：平成24年度～28年度
5. 事業の目的及び取組概要

本連携事業は、中教審答申を受け、現職教員並びに新任教員の「教員養成の修士レベル化」を一層推進するため、愛知県内の国公立大学33大学が構成する「愛知教員養成コンソーシアム」に参加する国公立の5大学が、県内における教員養成の高度化を既存の大学院修士課程との連携を図りながら、学士課程および修士課程における教員養成プログラムを構想する取組です。このプログラムでは、各大学の特徴を活かし各大学の独自性を保ちながら、一部を共同授業として展開し、教員養成としての質の保証を目指し、愛知県総合教育センターや名古屋市教育センターと連携し、現職教員の研修プログラム（修士レベル）の確立を通して、県内の小，中，高等学校教員の資質能力の向上改善を目指します。また、教員としての諸資格(社会教育主事，学校図書館司書教諭，学芸員等)の取得を図り、多様で個性的な教員の養成を目指します。

【文部科学省関係ホームページ】 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/renkei/

取組名称：愛知県内教員養成高度化支援システムの構築

取組大学：愛知教育大学（代表校）、愛知県立大学、桜花学園大学、名古屋学芸大学、名城大学

事業概要：愛知県内における教員養成の高度化を目的として、愛知県内の教育関係機関との連携を図りながら、連携大学間での修士課程における教員の修士レベル化に対応した共同教育教員養成プログラムを構想する取組

取り組みの背景

- ・教員養成における修士レベル化への対応
- ・教員需要が高めに推移する愛知県における新規採用教員の質の向上が求められること
- ・優れた教員を養成することを共通の目標とする大学での教員養成における協力体制が十分図られていない現状

事業内容

- ・国公立大学の教員養成カリキュラムの特徴を活かした共通科目の授業同時配信方法による共同教育
- ・大学における教員養成と採用後の教員研修の一体化
- ・教育委員会、教育現場が求める修士レベルに対応した教員養成プログラムの共同開発
- ・教育現場、地域社会、学生のニーズの大学教育への反映

事業の成果

- ・高度専門職業人としての教員の育成
- ・教員養成システムの最適化
- ・教育実習評価システムの統一化による質保証
- ・諸資格取得のための支援強化

「共同大学院」形式の修士レベル化対応教員養成システムの構想

